

「音楽で暮らしに感動を届ける」ザ・シンフォニーホールの情報誌

Vol.61

2024 1月 - 3月
2024 1/10 発行
TAKE FREE

謹賀
新年
2024

Symphony Soiree

ソワレ・シンフォニー Vol.23

大友直人インタビュー

Sinfonia

シンフォニア

Close Up

熱狂コンチェルト2024

川井郁子 シンフォニックコンサート 2024

The Symphony Hall Big Band Vol.22 Vol.23

プラスdeミュージカル〜ハッピー♡バレンタイン
by The Symphony Hall Super Brass

ほか

Happy New Year 2024

クラシック音楽ファンの皆様、The Symphony Hall Sinfonia 会員の皆様
そして、毎年、素晴らしい演奏をご披露下さる出演者の皆様

新年あけましておめでとうございます

2024年が幕開けました。

コロナ禍も過ぎ去り、2023年の後半は多くのファンの皆様もホールに帰って来て下さり、
かつての賑わいが戻って来たように感じています。

12月の大晦日、新年1月1日には、

ニコラ・ジャジューラさん率いるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団の皆さんが、
過酷な状況の中、来日し、私達に、素晴らしい癒しの一時を与えて下さいました。

世界に目を向けると、各地で紛争、戦闘が続き、コロナ禍が終わった今もなお、
違った意味で混沌とした時代が続いているように感じます。

新聞の記事に「文化、芸術は繋がりとし癒しを通じて平和をもたらす。

だから今こそ文化・芸術の力が必要だ。」というような文章を見つけました。

心から賛同し、自らの重責を再認識しております。

「癒し、和(輪)、相互理解、寛容、受容、教養、矜持」私達の生活に必要で大切な「心の柱」を喜び、
感動、楽しみと共に皆様へお届けするお手伝いを今年もしっかりとスタッフと共に続けて参ります。

どうぞ今年も The Symphony Hall に来て下さい。

そして、共に研ぎ澄まされた素晴らしい音楽・芸術から“生きる糧”を沢山頂きましょう。

2024年が皆様に取りまして素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

株式会社ザ・シンフォニーホール

代表取締役社長：田仲豊徳 取締役 GM・音楽総監督：喜多弘悦

館長：三上正弘 館長代理：坂上弘志 顧問：山上明美 顧問：喜多静一郎

スタッフ一同

The Symphony Hall



シンフォニア

www.symphonihall.jp

contents

Vol.61

2024.1-2024.3

2024.1.10 発行

- 2 熱狂コンチェルト2024 横山幸雄インタビュー
- 4 川井郁子 シンフォニックコンサート 2024
Passion in Blue ～情熱のヴァイオリン～ 川井郁子インタビュー
- 6 ソワレ・シンフォニーVol.23 大友直人インタビュー
- 7 山形交響楽団 さくらんぼコンサート2024 大阪公演
- 8 ライト・シンフォニックコンサート ～大人の癒し～
- 9 超絶のタイタニック この夏もパイプオルガンがスゴ過ぎる!!
- 10 The Symphony Hall BigBand Vol.22
BigBand ～タンゴ・タンゴ・タンゴ2～ 川波幸恵インタビュー
The Symphony Hall BigBand Vol.23 BigBand ～ディスコ2～
- 12 横坂源 チェロ・リサイタル -悪魔のロマンス- インタビュー Vol.2
- 13 イム・ユンチャン ピアノ・リサイタル
- 14 オルガン名曲決定版 2024
珠玉のシネマ名曲SELECTION Vol.8 ～モリコーネに思いをよせて～
荒 庸子 チェロ・リサイタル 2024
- 15 プラスdeミュージカル～ハッピー♡バレンタイン
by The Symphony Hall Super Brass
- 16 運命×カルミナ・プラーナ 幸田浩子インタビュー
- 18 Osaka Shion Wind Orchestra 第153回定期演奏会
0歳児からの“光と映像で楽しむオーケストラ” Vol.19
- 19 小味渕彦之「こみちゃんの温故知シン」vol.7
- 20 The Symphony Hall × 関西4オーケストラ 2024
New Season Message
- 22 ABCテレビ主催公演：イベント情報
- 26 日本センチュリー交響楽団
- 28 大阪音楽大学 第55回吹奏楽演奏会
近畿大学附属高等学校吹奏楽部 第51回定期演奏会
- 29 堀江政生のシンフォニア・アワー vol.61
- 30 ホールトビックス
- 31 Concert Calendar 2024.1～2024.3

1月のSinfonia会員先行予約について

Sinfonia会員先行予約を開始する1月25日(木)～1月31日(水)の期間は「お電話」と「窓口」の営業を10:00～18:00とさせていただきます。この期間以外の営業時間は、お電話・窓口ともに11:00～16:00となります。※火曜定休

※Sinfonia会員先行予約期間中は、電話・WEBのみのご予約となります。

※Sinfonia会員先行期間中にご予約されたチケットは、すべて郵送でのお届けとなります。

●電話：ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、営業時間が変更となる場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。

●WEB：<https://www.symphonihall.jp/>

登録費
年会費
無料!

シンフォニア会員登録方法

シンフォニア会員にご登録いただきますと、先行予約のご利用、シンフォニアのお届け、メールマガジンの受け取り等お得な特典をご利用いただけます。ぜひご登録ください!

▼ WEBサイトからのご登録

ザ・シンフォニーホール ホームページ
<https://www.symphonihall.jp/> からご登録下さい。

▼ ハガキでのご登録

定型ハガキに下記の情報を記載いただき、63円切手を貼付の上、ポストに投函ください。

【定型ハガキ裏】1.お名前(フリガナ付き)、2.性別、3.郵便番号、4.住所、5.電話番号、6.メールアドレス(メールマガジン受取りの場合)

【定型ハガキ表】531-8501 大阪市北区大淀南2丁目3-3

ザ・シンフォニーホール「シンフォニア」係

※手続き完了後、約2週間で会員番号のお知らせと、シンフォニア最新号をお送り致します。

※携帯端末のメールアドレスをご登録いただく場合、受信設定をしている方はメールが受信できない場合がございます。「@symphonihall.jp」をドメイン指定受信して下さい。指定方法はご利用の携帯電話会社にお問い合わせください。

【お客様の個人情報の取り扱いについて】株式会社ザ・シンフォニーホールでは、次に掲げた内容にしたがって、個人情報の保護に努めてまいります。○お客様からご提供いただいた個人情報については、個人情報に関する法令、規範に則り適正に管理いたします。○お客様からいただいた個人情報は、以下の目的のみに使用し、それ以外には一切使用いたしません。(1) シンフォニア会員様への情報誌「シンフォニア」および関連する印刷物の発送 (2) ザ・シンフォニーホールで開催する催事をご案内する印刷物の発送 (3) ホールなど施設の利用に関するご案内、ご連絡 (4) ザ・シンフォニーホールの事業、サービスの開発、改善を目的とした調査、研究のためのアンケートの送付・分析・データ集積 (5) チケット予約販売に伴う、ご本人確認およびご連絡 (6) 株式会社ザ・シンフォニーホールに関するご案内の発送○個人情報の提供はご自身の意思でご本人様が行うものとなります。○お客様の個人情報を、適正かつ迅速に処理するため、その作業を外部の企業に委託して行うことがあります。その場合、委託先において個人情報の安全に管理されるよう適切に監督します。

●表紙「ソワレ・シンフォニー Vol.23」大友直人©Rowland Kirishima
大阪フィルハーモニー交響楽団©飯島隆

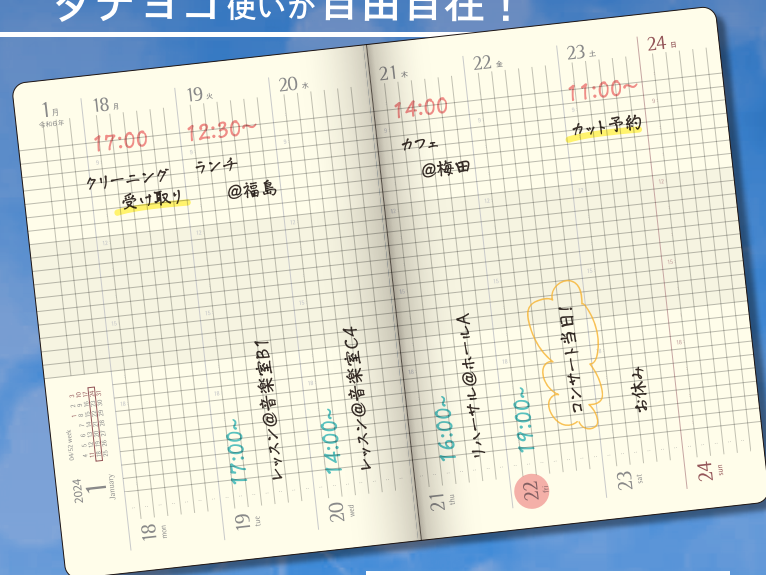
数量限定

The Symphony Hall

オリジナルスケジュール帳

ザ・シンフォニーホール
2024プランナー

タテヨコ使いが自由自在!



例えば 仕事とプライベートを使い分け

180°フラットオープン



ロゴが刻印された上質な表紙



全3色展開

レッド/キャメル/ブラック

税込 2,640円

商品詳細はこちら▼



販売場所

館内チケットセンター 窓口 (11:00～16:00 火曜定休)

館内プレイガイド (公演日の開場中～終演後)

お問
合せ

ザ・シンフォニーホール

TEL 06-6453-1010 (火曜定休) HP <https://www.symphonihall.jp>クラシック音楽の魅力、ホールの舞台裏の様子など
ザ・シンフォニーホールの情報をいち早くチェック!

Facebook



Instagram



YouTube



熱狂コンチェルト 2024

撮影：荒川 潤

前人未到の演奏活動で
日本のピアノ界を牽引している横山幸雄が
「熱狂コンチェルト」シリーズに登場！

Interview

「ピアノ」 横山幸雄

少年時代に憧れたザ・シンフォニーホール、今や大阪の拠点となっています。

——ザ・シンフォニーホールでは毎年何回かコンサートを開催されていますが、ホールの印象、思い出などを語っていただけますか？

大阪といえば、ザ・シンフォニーホールですね。僕が小学6年生くらいのときかな、日本に初めて本格的なクラシックの音楽ホールができたということで、写真を見て「すごいな」とワクワクしたのを思い出します。それまでのホールとは一線を画した存在で、いつか演奏してみたいと憧れました。

そして初めて演奏したのは1991年、シヨパンコンクールで入賞した翌年の4月の下旬だったと記憶しています。先に東京で2公演あって、4月1日にシヨパンのコンチェルトを2曲演奏しました。第2番はコンクールで弾いたのですが、第1番は初めてで、ものすごいプレッシャーを感じながら演奏して、1週間くらい力が抜けた状態になり、やっと回復して16日にオール・シヨパンのリサイタル。これまた疲れて、その後がザ・シンフォニーホールの公演でした。ある意味でよいなプレッシャーから解放放たれて、心地よい緊張感のなかで気持ちよく演奏したのを覚えています。



第3番」というすごいプログラムを披露されました。

まさに狂乱の世界ですよ。かつて東京でこのプログラムにプロコフィエフ「ピアノ協奏曲 第3番」をプラスして演奏したことがあったので、それよりは少ない、大丈夫と自分に言い聞かせながら演奏しました笑。

——2024年4月21日には、ライフワークとして「入魂のシヨパン」の大阪ヴァージョンの公演が予定されています。

お客様との距離が近く、隅々まで豊かな響きに包まれているという印象を持ちました。20歳、デビューしたばかりの頃の懐かしい思い出です。その後は、毎年コンチェルト、リサイタル、室内楽などを演奏していて、もはや大阪の拠点、行くのではなく戻ってくるという感覚ですね。

——先日（2023年11月26日）は、「ドラマティック・コンチェルト」と題して梅田俊明指揮、日本センチュリー交響楽団との協演で、チャイコフスキー「ピアノ協奏曲 第1番」、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲 第2番」「ピアノ協奏曲

シヨパン」の大阪ヴァージョンの公演が予定されています。今回は自作曲からシヨパンへという流れのプログラムにしてみました。前半は自作の「ノスタルジア・ファンタジー」を始め、祖国への誇りと愛に満ちた民族舞曲などを聴いていただきませう。後半は、自作の「祈りのバラード」からバラード全曲。東京の「入魂のシヨパン」シリーズとは違ったアプローチで、人間シヨパンに迫ってみたいと思います。

シヨパンとベートーヴェンを軸にさまざまな活動を展開していきたい



「ヴァイオリン」 郷古廉



「チェロ」 横坂源

——2021年にデビュー30周年を迎えられましたが、演奏活動の中心に据えているのは、やはりシヨパン、ベートーヴェンですね。

東京での春の「入魂のシヨパン」、秋の「ベートーヴェン・プラス」は2024年に第15回目と第10回目を迎えるので、2人の作曲家の作品をミックスしてストーリーを構成するプログラムを考えています。対照的な作曲家のようですが、ベートーヴェンの力強さ、シヨパンの繊細さには、奥深いところで相通じるものを感じます。

——若手ソリストと同じステージに立つ「熱狂コンチェルト2024」への期待が高まります。

18分間くらいの短いコンチェルトなので、1ラウンド1本勝負ですね（笑）。リストはシヨパンと同時代の作曲家ですが、シヨパンがピアノでしか表現できないものを追求したのに対し、ピアノをオーケストラのように扱っていた作曲家で、オーケストラの編曲作品をたくさん書いています。そういう意味で、ひとりオーケストラを目指したピアノに、コンチェルトではさらにバックにオーケストラを付き従えるわけですから、まさに絢爛豪華な音楽世界が広がります。

郷古廉さんの演奏は彼が高校生の頃から聴いていて、注目していました。今回はブラームス「ヴァイオリン協奏曲」を演奏するんですね。円熟した時期のブ

ラームスの作品にフレッシュな若手が挑戦するというのは、とても魅力的だと思います。僕にもそういう時期がありました。休憩をはさんで、横坂源さんのサンシンス「チェロ協奏曲 第1番」は、チェロという楽器の可能性を追求した技巧的でロマンティックな作品。若く才能あふれる2人にステージを温めていただいた後、トリを務めることになりましたが、「熱狂コンチェルト」という題名に一番ふさわしい華やかな作品でコンサートを締めくくる、僕自身もとても楽しみです。

（取材文 森岡 葉）

[指揮] 現田茂夫 [ヴァイオリン] 郷古廉 [チェロ] 横坂源
[ピアノ] 横山幸雄 [管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
サン＝サーンス：チェロ協奏曲 第1番 イ短調 op.33
リスト：ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 op.11

2024.7/20 (土) 2:00PM

全席指定 S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円 (税込)

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行：1/25 (木) 一般発売：1/28 (日)

Passion in Blue

～情熱のヴァイオリン～

常に音楽ファンから注目を集める
情熱のヴァイオリン

2017年から毎年のように出演し、
いつも趣向を凝らした舞台で注目を集める
ザ・シンフォニー・ホール・のコンサート・シリーズに降臨！

「ヴァイオリン」
川井郁子
シンフォニックコンサート2024

Interview

——昨年9月にはニューヨークで、日本からの和楽器奏者陣と現地オーケストラとのコラボによる「オーケストラ響（ひびき）」公演を成功させました。

「直前までかなり困難もあったのですが、デビュー当初から活動のテーマとしてきた『越境』を体現した企画をやっと海外で実現することができました。大きな反響を頂けたことで報われた気がします」

——ニューヨーク公演では、その前の3月にザ・シンフォニー・ホールで行われた「ドラマティックコンサート with オーケストラ響」で披露された楽曲や、葛飾北斎の浮世絵や舞踊などの映像を取り入れた演出スタイルが一部踏襲されていたとか。

「そうですね！そういう意味ではザ・シンフォニー・ホールの公演の方が一歩先を行ってますね（笑）」

——それだけに、聴衆としてはNEXTステージが大いに気になると思いますが、「シンフォニックコンサート2024」は、これもキャリア初期から一貫して追究してきた、タンゴの革命児、アストル・ピアソラの音楽を中心とするプログラムです。

「当時、タンゴの概念を超越しそうな勢いで迫ってくる、斬新で現代的なピアソラの音楽と出会って衝撃を受け、私もジャンルやまわりの意見にとらわれず、自分だけの音楽を目指すという夢を持ったので彼は私の原点。ブームもあつたし、今ではクラシックの演奏家にとって人気作曲家のひとつになりましたが、同じ曲でも奏者やスタイルでがらりと雰囲気が変わるのが面白いですね。今回はキンテート（五重奏団）の魅力を皆さんにお伝えしたいです」

——ピアノ・林正樹とコントラバス・宮田雄規に加えて、バンドネオン奏者に名手・小松亮太に師事した鈴木崇朗、ギタリストにジャズ・シーンが誇るベテラン、天野清継を揃えた精鋭メンバーの顔ぶれが目を惹きます。

「鈴木さんはとてもストイックな凄腕プレイヤーで、今も藝大で楽理を勉強されている本格派。そしてデビューの時から何度もお世話になっている天野さんですが、この編成で一緒にピアソラを弾くのは私も初めてなので、今からとてもワクワクしています」

——プログラムは「リベルタンゴ」や「オブリヴィオン」などの外せない定番曲に加えて、「プエノスアイレスの冬」、晩年の最高傑作アルバム「ラ・カモラ」にもキンテートで収録されていた「孤独」など、魅惑のラインナップ。特に、当初ピアソラが担当するはずだったベルトルッチ監督の映画「ラスト・タンゴ・イン・パリ」の主人公たちをイメージして書かれた《ジャンヌ・イ・ポール》はあまり頻繁に演奏される曲ではないので必聴です。

「ガット・バルビエリが作曲した『ラスト・タンゴ・イン・パリ』の音楽も好きですが、もし予定通りピアソラの、より官能的で情念渦巻く《ジャンヌ・イ・ポール》がテーマ曲だったら…と思うと、ドキドキします」

——ピアソラ作品以外では、2021年9月にリリースされたアルバム「ALWAYS」名曲物語でリスナーの涙を誘った《エマニエル》もいいですね。

「フランス人作曲家のミシェル・コロンビエが、亡くなった息子に捧げたとても美しい曲です。アルバムとは違ったアレンジでお届けできると思います」

——不世出の歌姫、エディット・ピアフの名唱で知られる《愛の讃歌》を、今回の小編成のアンサンブルで聴けるのも楽しみです。

「これまで特にシャンソンを聴いてこなかった私ですが、今はあの世界にとっぷりはまっています。《愛の讃歌》なんて弾いていると泣きそうになる。名曲が沢山あるのでこれからレパートリーとして開拓して行きたいですね」

——20世紀前半のスペインを代表する作曲家ファリャがピアノと独唱のために書いた《7つのスペイン民謡》も聴きどころです。

「天野さん（ギター）という心強い共演者がいるのでぜひ一緒にやりたかった。（子守歌）とも呼ばれる《Nana》などが有名ですが、情熱と哀愁が混在する7つの歌曲から何をとりあげようかとじっくり選んでいるところです。ご期待ください」

——2020年にデビュー20周年を迎え、ますます進化を続けてい

ますが、今回の公演にも今後の方性を示すヒントが隠されているかもしれません。

「どうでしょうか（笑）…でも結局は自分が思ったように進むのが正しいのだと、最近は確信しています。やりたいことは沢山あります。以前、中国の国宝級ダンサーであるヤン・リーピン（楊麗萍）の舞台に感銘を受けたので、自分もいつか音楽で演じる本格的な舞台劇を創りたい、というののひとつの夢ですね。よく、川井さんはいつも元気でですねと言われるのですが、その源は、常に挑戦し、ステージに立ち続けることだと思のです。今年も最高のステージであるザ・シンフォニー・ホールで皆さんをお待ちしています！」

（取材文 東端哲也）

【ヴァイオリン】川井郁子 【バンドネオン】鈴木崇朗
【ピアノ】林 正樹 【コントラバス】宮田雄規
【ギター】天野清継

ピアソラ：ジャンヌ・イ・ポール、オブリヴィオン、プエノスアイレスの冬、孤独、リベルタンゴ／モノー：愛の讃歌／ミシェル・コロンビエ：エマニエル／ファリャ：七つのスペイン民謡より ほか（予定）

2024.3/22（金）7:00PM

全席指定 S 6,500円 A 5,000円（税込）

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニー・ホール

発売中

まず、大阪フィルとの思い出を話していただけますか？

20歳代の頃、大阪フィルの専属指揮者をしていました。1986年には大阪フィルのヨーロッパ演奏旅行で、朝比奈隆先生とともに公演を担当させていただきました。朝比奈先生はウィーンやミュンヘンなどで指揮され、私はベオグラードなどで指揮をしたのを覚えています。また、ザ・シンフォニーホールで当時、大阪フィルのコンサートマスターだったジェラルド・ジャーヴィスさんと「第九」の公演をしたことも思い出します。

大阪フィルの第一印象はどうでしたか？

大阪フィルを初めて指揮したのは24、25歳の頃でしょうか。当時の大阪フィルは、朝比奈先生の手兵であり、隅から隅まで朝比奈先生のサウンド、様式感が徹底していて、素晴らしいかったです。あのとき、最初からオーケストラで見事なベートーヴェンが出来上がっていたので、驚きました。

ザ・シンフォニーホールについてはいかがですか？

お世辞じゃなく、日本一良いホールだと思っています。無理なくホール中に音が響き渡り、自然に良い響きを作れます。舞台と客席とがすごく近くて、お客さまとの一体感は特別なものがあります。ザ・シンフォニーホールで演奏会があるという

Symphony Soiree Vol.23

大阪フィルハーモニー交響楽団
× ザ・シンフォニーホール共催事業

ソワレ・シンフォニー

5回目の出演となる

指揮 大友直人 Interview



管弦楽の醍醐味を満喫！

大友直人&大阪フィルの華麗なる『展覧会の絵』

と、それだけでうれしくなります。

今回のプログラムの聴きどころを教えてください。

私が最初に「はげ山の一夜」を演奏したのが、大阪フィルでした。リムスキー＝コルサコフの編曲版を使いますが、実にシンブルでありながら効果的なオーケストラの使い方は圧巻です。

チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番で独奏を務める福岡洸太郎さんとは初共演です。大活躍されている福岡さんとの共演をとても楽しみにしています。またシンフォニックな協奏曲なので、大阪フィルのサウンドにはびつたりです。朝比

奈先生は、メッテル先生に師事したことでチャイコフスキーを得意とされていました。朝比奈先生はドイツ音楽のイメージが強いですが、ロシアものも十八番でした。当時とメンバーが替わったとはいえ、そういう伝統はオーケストラのなかに残っていると思います。

「展覧会の絵」は、大阪フィルと何度も演奏しています。ムソルグスキーの作曲ですが、ラヴェルのオーケストレーションが実に見事で鮮やかなのです。オーケストラの楽器のあらゆる魅力に溢れた曲であり、ラヴェルの管弦楽法の響きを味わっていたらとてうれしいですね。

年代的には若返っている今の大

大阪フィルの優秀なプレイヤーたちと新鮮な気持ちで演奏することが楽しみです。

(取材文 山田治生)

撮影：キセキミチコ

[指揮]大友直人 [ピアノ]福岡洸太郎

[管弦楽]大阪フィルハーモニー交響楽団

ムソルグスキー：交響詩「はげ山の一夜」

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変ロ長調 op.23

ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」

2024.5/22(水) 7:00PM

A 5,500円 B 3,500円 (税込)

[お問い合わせ]

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

[主催]公益社団法人大阪フィルハーモニー協会／ザ・シンフォニーホール

※大阪フィル・チケットセンター他、

プレイガイドは1/30(火)より一般販売 一般発売：1/31(水)



恒例の6月

山響さくらんぼコンサート

12回目を迎える山形交響楽団「さくらんぼコンサート」大阪公演 屈指の実力を誇る“山響アマデウスコア”が大阪に登場！



©Makoto Kamiya



昨年は天才バローク（山響ミュージックパートナー）で大喝采を浴びるなど、毎年恒例となった山形交響楽団さくらんぼコンサートが早くも12回目を迎えた。山形と世界を結ぶHubを掲げる山響。2024年は過去最大規模の陣容で阪が最も愛するザ・シンフォニーホールに乗り込む。

常任指揮者就任6年目を迎える阪哲朗の真骨頂が輝く、美しく明るい「戴冠ミサ」山響アマデウスコアに注目！

「モーツァルトの交響曲の原点はオペラにある」とことを阪との6年間で体得してきた山響。その品格に満ちた演奏で聴衆を魅了する。常任就任6年目を迎えた阪は、「最も力を入れて取り組みたい作曲家は？と問われたなら、迷いなくモーツァルトと答える」と、モーツァルトへの愛情を隠さない。とにかく明るいとその魅力を語る「戴冠ミサ」。レーゲンスブルク大聖堂での演奏が心に残ると語り、歌劇「フィガロの結婚」を思わせるソロが美しさを湛える。ソプラノ独唱は阪の信頼厚い老田裕子。東北・山形にルーツを持つ若き名歌手が独唱を務める。ここにも山響らしさを感じる。

1980年のウーレン音楽協会ホールでの「マタイ受難曲」で「若き日のベーター・シュライアー」と評された佐々木正利が音楽監督を務める山響アマデウスコアは日本屈指の合唱団として高く評価さ

公演を行うのは稀で、既に関西でも「画期的な挑戦」と期待されている。

山響が日本初演したニキシュ作品の再演！

19世紀西洋音楽史に金字塔を残した巨人アルトゥール・ニキシュ。彼が残した「ファンタジー」は、2023年4月に山形県長井市で阪&山響が日本初演した。今回、大阪・東京での再演が早くも実現する。

辻彩奈&上野通明によるブラームス！若き俊英が放つエネルギー！

未来を担う才能にも阪は注目してきた。2021年初共演時、初日のリハーサルを終えた後、「次の共演機会を作ってほしい」と、辻の才能にほれ込んだ阪。その後定期的に共演を重ねる。今回は、その辻とともに2021年ジュネーヴ国際コンクール覇者上野という若き俊英がブラームス最後の管弦楽作品でもある「二重協奏曲」でコンサートを締めくくる。

モーツァルト、ニキシュ、ブラームス、ドイツ・オーケストラ音楽の美しき伝統に彩られた一夜だ。

2025年大阪・関西万博を見据えたコラボレーション！

大阪公演では、阪が芸術監督を務めるびわ湖ホール声楽アンサンブルと、山響理事の小川理子が顧問を務めるパナソニック合唱団とのコラボを実現することにも注目したい。

「さくらんぼコンサート」恒例！山形物産展と来場者全員へ山形県産さくらんぼプレゼント！

昨年、規模を拡大して開催した「さくらんぼコンサート」の名物、山形物産展。来場者全員に山形県東根市産のさくらんぼをプレゼントももちろん今回も実施される。大阪の音楽の殿堂が、この日は、山形の魅力に彩られる。多くの方に体験してほしいと願う。



さくらんぼコンサート2024 大阪公演

[指揮] 阪 哲朗 [テノール] 鏡 貴之
[ヴァイオリン] 辻 彩奈 [バリトン] 井上 雅人
[チェロ] 上野 通明 [合唱] 山響アマデウスコア
[ソプラノ] 老田 裕子 びわ湖ホール声楽アンサンブル
[アルト] 在原 泉 パナソニック合唱団

モーツァルト：歌劇「魔笛」K. 620 序曲
モーツァルト：ミサ曲 八長調「戴冠式ミサ」K. 317
ニキシュ：ファンタジー（オペラ「ゼッキンゲン」のトランペット吹き）のモチーフによる
ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 Op.102

2024.6/21(金) 7:00PM 一般発売:1/29(月)

S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円 (税込)
[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
[お問合せ] 山響チケットサービス 023-616-6607
[主催] 公益社団法人 山形交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール

山形交響楽団映像配信のご案内

クラシック専門 ライブストリーミングプラットフォーム
「CURTAIN CALL」
<https://curtaincall.media/yamakyu>

山形交響楽団公式 YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/YamagataSymphonyOrchestra>





オルガン 大木麻理

「ターミネーター」～「メイン・テーマ」／「ミッション・インポッシブル」～「メイン・テーマ」／「タイタニック」～「My Heart Will Go On」／「ニュー・シネマ・パラダイス」セレクション／「海の上のピアニスト」～「愛を奏でて」／「ゴジラ」～「メイン・テーマ」／「銀河鉄道999」～「A journey to the stars」／「宇宙戦艦ヤマト」～「宇宙戦艦ヤマト」

早くも真夏に行われるプログラムが決定。

ザ・シンフォニー・ホールの正面で威厳のある姿を誇るスイス・クーン社製のパイプオルガンの荘厳な響きと連動して、ホールいっぱいにプロジェクションマッピングのめくるめく仮想世界がダイナミックに展開する大人気企画「超絶シリーズ」。演奏するのはもちろん、ドイツで研鑽を積み、権威あるブクステフーデ国際オルガンコンクールで邦人初優勝の栄冠に輝いたオルガニスト、大木麻理。昨年12月に恒例の「クリスマス・オルガンコンサート」を成功させたばかりの彼女が、年明け1月には過去の同シリーズから聴きどころを集めた「アンコール・豪華版」と言うべき「超絶BEST」を開催する。その集大成公演への期待が高まる中、早くも7月に行われる次のプログラムの概要が明らかになった！

タイトルはズバリ「超絶のタイタニック」。かつて「バック・トゥ・ザ・フューチャー」や「インディ・ジョーンズ」などを披露して好評を博した、映画を彩る珠玉のテーマ曲編が新しい選曲で登場する。メインとなるのはもちろん、1997年の12月に公開され長らく映画興行収入の史上最高記録を保持していたジェームズ・キャメロン監督の超絶大作「タイタニック」の「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」。本編のスコアも担当したジェームズ・ホーナーがヒロインであるローズのテーマを元に書き、その年のアカデミー歌曲賞も受賞したこの主題歌も、歌姫セリーヌ・ディオンの歌唱で世界的な大ヒットを記録。ティン・ホイスルの物悲しいケルト風のイントロが印象的なこの曲が、壮大なオルガンでどのように奏でられるか、そしてプロジェクションマッピングは果たして巨大なタイタニック号が沈没するような大スケタルを見せられるのか、大いに期待したい。

[オルガン]大木麻理

「ターミネーター」～「メイン・テーマ」／「ミッション・インポッシブル」～「メイン・テーマ」／「タイタニック」～「My Heart Will Go On」／「ニュー・シネマ・パラダイス」セレクション／「海の上のピアニスト」～「愛を奏でて」／「ゴジラ」～「メイン・テーマ」／「銀河鉄道999」～「A journey to the stars」／「宇宙戦艦ヤマト」～「宇宙戦艦ヤマト」

2024.7/26(金) 7:00PM ※休憩なし。約60分間のコンサートです。
全席指定 3,000円(税込) ※4歳以上のお子様からご入場可能です。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニー・ホール

先行予約: 1/25 (木) 一般発売: 1/28 (日)

ニオ・モリコーネ作曲の名旋律へ愛を奏でて弾かれるのも素敵だ。しかもジュゼッペ・トルナトーレ監督＆モリコーネによる黄金コンビつながり(?)で誰もが愛する「ニュー・シネマ・パラダイス」からの名曲たちが奏でられるのも嬉しい。

しかも後半には邦画テーマあり。70周年記念作の『ゴジラ -1.0-』も記憶に新しいが、やはりシリーズ原点である伊福部昭・作曲のメイン・テーマは必聴。更には昨年亡くなった松本零士先生を追悼した『宇宙戦艦ヤマト』(これも船つながり?)なども観逃せない。

(文 東端哲也)



指揮 柴田真郁

「フィガロの結婚」と、ロッシーニの歌劇「セヴィリアの理髪師」から、名曲の数々を、江原のバリトンとともにお届けする。ポール・マルシェの台本による「セヴィリアの理髪師」と「フィガロの結婚」は物語が繋がっていて、両者を切り離して考えることは不可

大人のための癒しを感じる「ほろびコンサート」。

ザ・シンフォニー・ホールと大阪交響楽団がタッグを組み、10回目を数える人気シリーズ「ライト・シンフォニックコンサート」。普段、クラシックに接する機会の少ない「大人の音楽ファンが、ライト(気軽に)楽しめる」贅沢なシリーズとして好評を博し続けている。

これまでに、ヴァイオリニストの川井郁子、ギタリストの村治奏一、ミュージカル歌手の岡幸二郎、トラネットのエリック・ミヤシロ、歌手の布施明など一流かつ多彩なゲストと共演してきたが、記念すべき10回目は、オペラ歌手として活躍する江原啓之を歌とトークのゲストとして迎える。そして、指揮の柴田真郁(大阪交響楽団ミュージックパートナー)とともに、楽しいお話とオペラアリアやオペラの管弦楽曲の数々を、「癒し」をテーマに、まさに

「贅沢なひとときをお贈りする。2008年、関西二期会「セヴィリアの理髪師」公演でのフィオレロ役でオペラデビューを果たした江原は、2009年同じく関西二期会で「ラ・ボエーム」公演でのベノア・アルチンドロ役、2016年「ジャン・ニスキッキ」タイトルロールに出演、関西のオペラ界での活躍も多い。その後「夕鶴」「第九」「マタイ受難曲」などのソリストや、リサイタルなどを開催、またクラシックにとどまらずポップスにも取り組み、11枚のCDをリリースするなど活動は多岐にわたる。

そんな江原を今回支えるのが、柴田真郁率いる大阪交響楽団。江原と柴田は、2023年7月「夕鶴」(日本オペラ協会)で初共演ながらも、それまでも親交があり、びったりと息の合ったオペラアリアの数々を聴かせてくれることだろう。

第一部では、モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」と、ロッシーニの歌劇「セヴィリアの理髪師」から、名曲の数々を、江原のバリトンとともにお届けする。ポール・マルシェの台本による「セヴィリアの理髪師」と「フィガロの結婚」は物語が繋がっていて、両者を切り離して考えることは不可

[指揮]柴田真郁(大阪交響楽団ミュージックパートナー)

[歌とトーク]江原啓之 [管弦楽]大阪交響楽団

モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲／モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞこの蝶々」／マスネ:歌劇「タイス」より「瞑想曲」／ロッシーニ:歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲／ロッシーニ:歌劇「セヴィリアの理髪師」より「私は町のなんでも屋」／ヘンデル:歌劇「リナルド」より「私を泣かせてください」／ビゼー:「カルメン」組曲より「前奏曲」／間奏曲「アラゴネーズ」／ジプシーの歌／ボロディン:歌劇「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」

2024.5/18(土) 2:00PM

全席指定 SS 10,000円 S 8,000円 A 6,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]公益社団法人 大阪交響楽団/ザ・シンフォニー・ホール

先行予約: 1/25 (木) 一般発売: 1/28 (日)

能な、いわば兄弟オペラ。

第二部は、NHK連続テレビ小説「ちゅらさん」挿入歌として知られている、ヘンデルの歌劇「リナルド」より「私を泣かせてください」で始まり、江原柴田の癒しにまつわるトークなどを交えながら、ロマン派の超有名オペラ「カルメン」からの抜粋と、ロシアの作曲家ボロディンの壮大なオペラ「イーゴリ公」より「だったん人の踊り」と聴きごたえ満載だ。

これまでの「大人の贅沢」から少し趣向を変えてお届けする「大人の癒し」、江原のトークとともに、オペラ名曲の数々を楽しんでいたところ間違いなし！

Vol.23 ディスコ2



TSHBBと毎年恒例で共演してきた巨匠が8度目のゲスト出演！
様々なジャンルの音楽を極上の演奏で楽しめるThe Symphony Hall Big Band (TSHBB)。その23回目となる今回の公演は、ゲストにヴァイオリニストの古澤巖を迎える。
東京都交響楽団の元ソロ・コンサートマスターで、その圧倒的な美音と技巧と音楽性によって、長年に渡りクロスオーバーに活躍する古澤。TSHBBとの共演は実に8回目、今やTSHBBの17人目のメンバーのような存在だ。
TSHBBリーダーの菊池寿人によると、「古澤さんは大御所なのに気さくで、レパートリーも

広く、TSHBBの目指す音楽にこの上なくふさわしい方」とのこと。また、古澤とビッグ・バンドの共演が聴けるのは世界で唯一ここだけということもあり、毎回が一期一会の豪華な宴になっている。
前回のTSHBBと古澤は、開催日の7月7日(七夕)にちなんで、星にまつわる名曲を集めた「星に願いを」で聴き手を大いに魅了。それに続く今回は、過去に大好評を博したディスコ・ミュージック名曲集の第2弾「ディスコ2」をお贈りする。
予定演出で特に注目なのが、ディスコ全盛期の1970年代を象徴するアメリカの伝説的バ

ンド、アース・ウィンド&ファイアーのメドレー。R&B、ファンク、ソウル、ジャズなどを融合させて、新たなポップスを生み出した彼らの名曲を、TSHBB & 古澤がどう変容させるか楽しみだ。
そしてもう1曲必聴なのが、フランク・ヴァリ「君の瞳に恋してる」。1967年に発表後、多くの名歌手たちがカバーし、82年にディスコ調にアレンジされたことで日本でも広く知られるようになった。往年のディスコを席巻した名曲中の名曲が、ザ・シンフォニーホールでさらなる輝きと深みを増す、奇跡のひとつをお聴き逃しなく!!
(文 渡辺謙太郎)

[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャル ゲスト]古澤 巖 (ヴァイオリン)

アース・ウィンド&ファイアー メドレー / 君の瞳に恋してる ほか

2024.6/26(水) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円 (税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

シンフォニア会員先行: 1/25(木) 一般発売: 1/28(日)



スペシャルゲスト
「ヴァイオリン」

古澤 巖



過去の公演の様子



[演奏]The Symphony Hall Big Band
[スペシャル ゲスト]川波幸恵 (バンドネオン)

ラ・クンバルシータ/エル・チョクロ/リベルタンゴ/オブリヴィオン/アディオス・ノニーノ/
碧空/タキート/ミリタール/心の底から/天使のミロンガ ほか

2024.3/6(水) 7:00PM

全席指定 一般 7,500円 小学生以上18歳以下 3,300円 (税込)

[お問い合わせ]大阪アートエージェンシー 06-6372-4583

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

TSHBBとバンドネオンの名手の強力タッグが早くも再び実現！
クラシック専用ホールで聴くビッグ・バンド。その魅力を最良の形で味わえるThe Symphony Hall Big Band (TSHBB)の公演が、早いもので22回目を迎える。トラネットの菊池寿人をはじめとした日本を代表する16人の名手で構成されるTSHBBが今回ゲストに迎えるのは、バンドネオンの川波幸恵。2015年にアメリカで行われた第1回チエ・バンドネオン世界大会を制し、現在は地元・福岡を拠点にマルチに活躍する彼女は、22年3月にTSHBBと初共演しており、それから間も

ない再共演に両者の相性の良さが窺える。
「TSHBBは大人数なのに、メンバー間のコミュニケーションが素晴らしくて、前回の初共演時には本当に心地よい空間を作ってくれました。仕事ではなく仲間という雰囲気が素敵だし、アレンジがカッコいいのも大きな魅力です」
「タンゴ・タンゴ・タンゴ2」と題して行う今回の公演は、前回好評を博したタンゴの革命児ピアソラの傑作を多数再演予定。前述の通り、アレンジも大きな魅力の「ラ・クンバルシータ」、「エル・チョクロ」、「アディオス・ノニーノ」、「リベルタンゴ」などを演奏

するというから楽しみだ。
「特に感銘深かったのが、パイプオルガンと共演した『アディオス』。バンドネオンはパイプオルガンの小型版として19世紀ドイツで生まれた楽器なので、改めて親和性を感じましたね。また、前回は名手揃いのTSHBBと対話するのに必死でしたが(笑)、今回は引き出しが沢山増えたので、お互いにアドリブを楽しみながら、ザ・アルゼンチンタンゴとは違う面白さをお届けできればと思います」
前回がザ・シンフォニーホールにおける初演奏で、「音響も、聴き手も、ホールスタッフの心遣いも万全で、欠けていたり、ひっかかったりするものが何ひとつなかった」と絶賛する川波。20年からは福岡在住の女性演奏家トリオ「タンゴ三人姉妹+」(バンドネオン、ヴァイオリン、ピアノ)を結成し、アルゼンチンタンゴをはじめとした幅広い普及に動んだり、女優・渡辺えりの舞台にバンドネオン奏者役として出演した縁で、西城秀樹・沢田研二・笑福亭鶴瓶・宇梶剛士らとジャンルを越えた共演を重ねたりと、実に活躍がめざましい。
さらに今回の出演直前の24年1~2月には、約8年ぶりにアルゼンチンを訪問。タンゴの本場で

スペシャルゲスト
「バンドネオン」

川波幸恵

Interview



「特に感銘深かったのが、パイプオルガンと共演した『アディオス』。バンドネオンはパイプオルガンの小型版として19世紀ドイツで生まれた楽器なので、改めて親和性を感じましたね。また、前回は名手揃いのTSHBBと対話するのに必死でしたが(笑)、今回は引き出しが沢山増えたので、お互いにアドリブを楽しみながら、ザ・アルゼンチンタンゴとは違う面白さをお届けできればと思います」



吸収してくるであろう最新の音楽芸術をフレッシュな形で心ゆくまで堪能しよう!
(取材・文 渡辺謙太郎)

Interview
Vol.2

横坂 源 チェロ・リサイタル

Gen Yokosaka Cello Recital

悪魔のロマンス
Romance Del Diablo

必聴《ル・グラン・タンゴ》!! 横坂 源

ザ・シンフォニーホールが誇る
看板チェリストによる今年2月
のリサイタル。ドイツ音楽を軸と
した前半とは打って変わって、後
半はタンゴの革命児アストル・
ピアソラ尽くしで魅せる。

「ピアソラには以前からとても
興味があつて、地元・浜松市の図
書館でも彼に関する書籍を結構
読みあさりました。踊りのた
めの音楽という固定概念を超越
して、現代音楽としてのタンゴを
追究する、孤高の男」というイ
メージもあれば、パリ留学時代に
師事していたナディア・ブーラン
ジェに音楽家としての在り方を
相談したりする、センチティヴな
面も持ち合わせているのが魅力
的だと思いました。今回のリサ
イタルを手始めに沢山弾いて行
きたい」

定番の《リベルタンゴ》や、ピア
ソラの趣味である鮫釣りに因んで

書かれた軽快な《鮫》も楽しみだ
が、今回のプログラムで目を惹く
のは、高校時代に出会った作品だ
というチェロとピアノのための
《ル・グラン・タンゴ》だ。

「曲を聴いていいなと思ってい
たら、当時仲の良かった同級生の
ピアノリストが楽譜を持っていて、
何と僕にくれたんです。でもそ
のまま弾かずに15年くらいが過
ぎ、後に彼と再会した時、あの楽
譜まだ持つてるんだけど、話
になって、一緒に演奏しました。
なのでいちばん思い入れが強い
曲です」

リサイタルのタイトルにもなっ
ている《悪魔のロマンス》はチェ
ロ・アンサンブルでの演奏経験は
あるものの、ピアノとのデュオで
は初めてとか。

「《ル・グラン・タンゴ》も、真夜中
の音楽」という雰囲気を持ってい
ますが《悪魔のロマンス》はもっと

ダークで、歯切れの良いバンドネ
オンの息づかいよりも、ピアノの
サイレントで硬質な感じがぴった
り合うと思います」

ザ・シンフォニーホールの聴
衆にとつてはお馴染みの存在だ
が、毎回意欲的で常に挑戦する
姿勢には定評があり、今後もそ
の成長に期待を込めて見守りた
くなる。

「皆さんに感謝しつつ、あのス
テージに定期的に立てる欲びをい
つも噛みしめながら演奏していま
す。今年も作品や人との出会いを
通じて、自分も大きくなれるよう
頑張ります！」

(取材・文 東端哲也)

[チェロ]横坂 源

[ピアノ]萩原麻未 ※当初予定の沼沢淑音より萩原麻未に変更になりました。

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第4番 八長調 op.102-1

R.シュトラウス：チェロ・ソナタ 八長調 op.6 / サン＝サーンス：白鳥

ピアノソラ：悪魔のロマンス、リベルタンゴ、鮫、ル・グラン・タンゴ

2024.2/3 (土) 7:00PM

全席指定 4,400円 (税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中



©Ralph Lauer

史上最年少・ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールの覇者 若手の新星 ザ・シンフォニーホールに初登場

2022年、世界屈指の国際音楽コンクール「第16回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール」で弱冠18歳の青年（少年）が優勝した。しかも史上最年少で!!

第13回大会ではあの辻井伸行が優勝し、彼の世界への第一歩を作った。まさにそのコンクールである。

2022年の第16回大会では18歳、史上最年少優勝という新たな歴史が刻まれ、全世界にセンセーションを巻き起こした。

その彼こそ、2024年やっとなに二十歳を迎える、イム・ユンチャン。

今や、世界へ羽ばたく多くの音楽家を輩出する韓国で育ち、音楽家激戦区で鍛えられた、新星ピアニストは、韓国内に留まらず、世界中に多くのファンを魅了している。

今、世界が最も注目している若手ピアニストは衝撃の優勝から僅か半年後に日本でデビューリサイタルを果たした。日本国内最大手のクラシック音楽事務所ジャパン・アーツがコンクール前からしっかりとリサーチをし



©Lisa-Marie Mazzucco

て、次世代を担うトップアーティストになると確信し、追跡していたからこそ実現したコンサートだった。そして、その日本デビューコンサートには、海外からも多くの聴衆が訪れた。

既にニューヨーク・ウィルをはじめ、世界のトップオーケストラとも共演を果たし、現在も世界各地活躍を続けている。

そのイム・ユンチャンがこのザ・シンフォニーホールに初登場する。彼自身にとっても、その歴史的瞬間を目撃する人にとっても、生涯、忘れられない瞬間となる事だろう。

弱冠20歳の若者は、世界的な栄誉に驕ることなく、自らを律し、今回挑むのはオール・ショパン・プログラム。ショパンの遺作となった「3つの新しいエチュード」、「12のエ

チュード 作品10」、「12のエチュード 作品25」。

若さ溢れる絶妙のテクニックもさることながら、音楽そのものの奥深さは、如何に彼が、常に、真摯に音楽に向き合い、楽譜の向こうに存在する、今は亡き作曲家と、心の中で対話が続いているのかが窺える。

今、世界が注目する新星ピアニストが今回の来日公演で、西日本ではザ・シンフォニーホールのみが、その会場となる。

2024年2月11日（日・祝）14時開演。これからイム・ユンチャンが刻む新たな歴史の最初の1ページ目を全てのピアノファンと共に見守りたい。

[ピアノ]イム・ユンチャン

《オール・ショパン・プログラム》

3つの新しいエチュード（遺作）／12のエチュードop.10
12のエチュード op.25

2024.2/11（日・祝）2:00PM

全席指定 6,000円（税込）

[お問い合わせ]ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催]ザ・シンフォニーホール

発売中

オルガン 名曲決定版2024

[オルガン] 富田一樹

若き巨匠・富田一樹がパイプオルガンの真髄を伝える名曲決定版！

ザ・シンフォニーホール顔であるスイス・クラウス・デュラントのバイプオルガン。その輝かしく豊麗な名器の性能を知り尽くした若き巨匠が、選りすぐりの名曲を並べた「オルガン名曲決定版」をお贈りする！

地元・大阪府摂津市で生まれ育ち、ドイツ・リューベックで研鑽を重ねた彼は、バツハ国際コンクールで世界一となった大阪に戻ってきた。そんな彼が予定演目を選んだのは、愛してやまないJ.S.バツハの傑作として名高いコラーレやフーガ。オルガンの多彩な音色や、バツハの醍醐味である複数の旋律のバランスのよさを存分に伝えてくれるに違いない。

他にも、バツハが心酔していた17世紀北ドイツ最大のオルガニスト・ブクステフーデ。同じくバツハの先駆者にあたるシャイデマン。イタリアの高名な音楽学者でもあったジャゾット。色彩豊かな調性の変化でドイツ・

オルガン音楽を発展させたエラート。即興演奏に秀でた名オルガニストでもあったフランスのジグー。ドイツらしい優美で気品にあふれた作風が特長のケルナー。…といった

隠れた名曲も多数予定されており、コアなファンも初心者も楽しめる至福のひとつになることだろう！！

(文 渡辺謙太郎)

[オルガン] 富田一樹

ブクステフーデ：前奏曲とフーガ ヘ長調 BuxWV145 / ジャゾット：アルピノーニのアダージョ ト短調 (オルガンソロ版) / エラート：凱旋行進曲「いざ諸人よ、神に感謝せよ」 op.65-59 / ジグー：トッカータ 口短調 / ケルナー：前奏曲 ハ長調 / シャイデマン：ガイヤルドと変奏 ニ短調 WV107 / J.S.バツハ：「われ汝に呼ばわる、主イエス・キリストよ」 BWV639、「目覚めよと呼ぶ声あり」 BWV645、幻想曲とフーガ短調 BWV542「大フーガ」

2024. 2/16 (金) 7:00PM

全席指定 3,000円(税込) ※休憩なし。約60分のコンサートです。

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

荒 庸子 チェロ・リサイタル 2024 珠玉のシネマ名曲集

SELECTION Vol.8

モリコーネに思いをよせて

名手・荒庸子とともに「気がつけばもう8回目」の「珠玉のシネマ名曲集」

心ゆさぶるノスタルジーに満ちたメロディー、若き日の思い出の名画をよみがえらせてくれる懐かしい響き。チェロ奏者の荒庸子による人気シリーズ「珠玉のシネマ名曲集」は、毎回多くの関西の音楽ファンに愛され、極上のひとときをお届けしてきた。8回目となる今回のテーマは「モリコーネに思いをよせて」。言わずと知れた、映画音楽の巨匠が紡ぎ出す名曲の数々は、不朽の名作映画に華やかな彩りを添え、私たちの記憶に残る名場面を躍動させる、まさに魔法のような力をもっている。今回も得意の、「ニュー・シネマ・パラダイス」「ミッシェン」「海の上のピアニスト」といったモリコーネ・サウンドで、加えて『エデンの東』『道』そして『ライムライト』など、映画ファンにとっても待望の名曲がずらりと並んだ。さらにはオペラ『カヴァレリア・ルスティカーナ』から『ステイカーナ』からリリカルな美しさをもつ「間奏曲」も取り上げられるので、オペラファンにも嬉しいかぎりだ。荒による親しみやすいトークが入ることでも人気の「シネマ名曲集」。陽春の土曜日の午後、年に一度は荒の奥深いチェロの世界に癒やされたい。

(文 伊藤制子)

[チェロ] 荒 庸子 [ピアノ] 山田武彦

モリコーネ：「ニュー・シネマ・パラダイス」より「愛のテーマ」、「海の上のピアニスト」より「愛を奏でて」、「ミッシェン」より「ガブリエルのオーボエ」／メンケン：「美女と野獣」より「美女と野獣」／チャップリン：「ライムライト」より「エターナリー」／ロータ：「道」より「ジェルソミーナのテーマ」／ローゼンマン：「エデンの東」より「メイン・テーマ」／マスカーニ：「カヴァレリア・ルスティカーナ」より「前奏曲」「間奏曲」ほか

2024. 3/30 (土) 2:00PM 全席指定 4,400円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

Shid! × TheSymphonyHall ブラス de ミュージカル

ハッピー♡バレンタイン

The Symphony Hall Super Brass Brass de Musical "Happy Valentine"



バレンタインデーに贈る愛の物語

2022年7月に始動した《ザ・シンフォニーホールスーパーブラス》はプロジェクト・マッピングによる演出と、迫力満点のブラス特有のハイパーサウンドで大好評を博している。

メンバーはオオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラと関西の第一線で活躍する精鋭奏者で構成され、レパートリーも映画、アニメ、ミュージカル、ゴスペルと、めっちゃ楽しい音楽をモットーに、毎回大迫力のコンサートが続いている。

指揮するのは、ザ・シンフォニーホール音楽監督でもある喜多弘悦。彼が企画する公演の中でもこのコンサートは、どんな世代の人々にも届く楽しい音楽創りが特徴。さらに視覚でも楽しめるようにと、1曲ごとに曲の背景や発信したい内容を考えたプロジェクト・マッピングがデザインされ、選曲も様々。初めての方も楽しめるコンサートをと、少しでも多くの方にザ・シンフォニーホールの音響を味わって頂きたい一心で工夫が凝らされている。楽しいお話も交えながら進行するサービス精神溢れるステージは、まさに五感を刺激するエンターテインメント・ショーとして、これまでにない新時代のスタイルを築いている。

次回公演は、2024年2月14日のバレンタインデー。ずばりテーマは『愛』！誰もが聴いたことのある

ミュージカルや映画の名曲がラインナップ。「美女と野獣」、「シンデレラ」、「マンマ・ミーア!」、「オペラ座の怪人」等から、たっぷりの『愛』を込めて、時には優しく時には激しく！迫力のブラスサウンドをお楽しみ頂きたい。

少し早く来て館内に沢山ある絵画を楽しみ、180席以上あるカフェでワインや軽食を楽しむのもオススメ。さらに今回はフォトスポットも特設されるというから、是非コンサートの記念になる1枚を。どうぞ、あなたの大切な人と一緒にザ・シンフォニーホールでこの感動を味わいに来て下さい。誰もがハッピーになること間違いなし！

《プラスdeミュージカル》〜ハッピー・バレンタイン

[指揮・お話] 喜多弘悦

[演奏] The Symphony Hall Super Brass

「美女と野獣」ハイライト／「シンデレラ」メドレー／「オペラ座の怪人」セレクション／「アラジン」メドレー／「マンマ・ミーア!」メドレー／映画「タイタニック」ほか

2024. 2/14 (水) 7:00PM

一般 6,600円 高校生以下(4~18歳) 3,300円 (税込)

※4歳のお子様からご入場いただけます ※プロジェクト・マッピング付き

[お問い合わせ] 大阪アーティスト協会 050-5510-9645

[主催] ザ・シンフォニーホール

発売中

運命

BEETHOVEN・SYMPHONY No.5

×

CARMINA BURANA

カルミナ・ブラーナ

冬がさる（コロナを乗り越えて）、
春が訪れ、新しい生命がめばえる

『カルミナ・ブラーナ』の歌詞より

ベートーヴェン「運命」とオルフ「カルミナ・ブラーナ」という
ドイツ音楽の神髄を聴く豪華なプログラムが実現！



Hiroyuki Kouda

「ソプラノ」

幸田浩子

Interview

めくるめくりズムで奏でられる人生、酒、愛
歌姫が語る『カルミナ・ブラーナ』の魅力

「カルミナ・ブラーナ」は歌うのも
聞くのも大好きな作品です！

——これまで何度も「カルミナ・ブラーナ」（以下「カルミナ」）を歌われていますが、記憶に残る公演などがありますか。

東京藝大の学生時代に合唱で参加し、その迫力のある響きやソロの美しさにとっても強い印象を受けました。その後、ソロを歌うようになりましたが、冒頭から最後まで、人生の車輪が回るかのような曲調も特徴的で、壮大なエネルギーに満ちていて、多角的な魅力にあふれた大好きな作品です。生きることの意味や歌うことの本质なども考えさせてくれます。明るい生命力が感じられる作品なので、3月31日という春の昼下がりに上演するにもぴったりですね。ソプラノ

が歌うパートは女性のシンボリックな意味があるかもしれませんが、センシティブであったり、神聖さやエロスを表現していたりなど、様々な役割があり、多様性が織りなされて、ひとつの宇宙のようになっていると思います。耳に残るリズムの反復もあり、舞踏つき上演もありですし、オペラ、演劇などさまざまな要素を含んだ作品ですね。私はハイドンの「天地創造」などオラトリオ作品も大好きなので「カルミナ」のような音楽つきの大作を今回歌うことができるのを大変嬉しく思っております。

——今回は飯森範親さんの指揮で、オーケストラは、日本センチュリー交響楽団です。そしてテノールの中井亮一さん、バリトン

の須藤慎吾さんといった躍進中の歌手のお二人との共演ですね。

飯森さんはオペラ、オーケストラでこれまで何度も一緒にしましたが、「カルミナ」は初めてです。とても対話を大切になさる指揮者で、素晴らしい音楽をつくれる方だと思います。日本センチュリーさんとは何度も共演しています。私が通っていた高校近くの服部緑地に練習所があるんです。緑豊かな公園や乗馬クラブもあるところなので、練習に行くたびに懐かしい気分一杯になりました。中井亮一さん、須藤慎吾さんは、この作品にぴったりのすてきな演奏家で、共演させていただくことをとても楽しみにしています。

関西のお客様のあたかさに触れて

——ザ・シンフォニーホールには、何度も出演しておられますが、ホール、そしてお客様にはどんな印象をお持ちですか。

1704席のホールでお客様とも距離が本当に近く、毎回おなじみのお客様のお顔も見えます。開演前の賑やかなおしゃべりは大阪流ですし、東京とはまた違う親密な距離感があり、とてもあたたかい感じの客席の雰囲気が残ります。音響も素晴らしいですね。ピアノシモでもホールの隅々までも美しく届きますので、本当に歌いやすいです。ホールの近くには美味しい焼き芋を出しているカフェがありますし、近隣は美食の宝庫ですので、毎日出演するのを楽しんでいます。

——来場されるお客様へのメッセージをお願いします。

「カルミナ」のような素晴らしい作品に出演することができて、本当に幸いです。会場皆様にお目にかかるのを楽しみにしております。

「歌うことこそ、一番の健康法で、音楽があつて本当に幸せです」と語ってくれた幸田。日本を代表するディーヴァが歌う「カルミナ」を多くのファンが心待ちにしていることだろう。

（取材：文 伊藤制子）



「指揮」飯森範親



「テノール」中井亮一



「バリトン」須藤慎吾

【指揮】飯森範親 【ソプラノ】幸田浩子 【テノール】中井亮一
【バリトン】須藤慎吾 【管弦楽】日本センチュリー交響楽団
【合唱】日本センチュリー合唱団
【児童合唱】大阪すみよし少年少女合唱団

ベートーヴェン：交響曲 第5番「運命」
オルフ：「カルミナ・ブラーナ」

2024.3/31(日) 3:00PM

全席指定 S 9,900円 A 8,800円 B 7,700円（税込）

【お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】ザ・シンフォニーホール

発売中



管弦楽・合唱 日本センチュリー交響楽団&合唱団



合唱 大阪すみよし少年少女合唱団



[指揮／作曲] 宮川彬良

Shion | 100th AnniversaryOsaka Shion Wind Orchestra
第153回定期演奏会

© 飯島隆

五感を呼び覚ます！宮川彬良×Shionが魅せる舞台音楽との融合

100周年イヤーのラストを飾るのは音楽監督・宮川彬良です。

今回のプログラムはテーマが2つ。前半は宮川彬良の選曲により、関西・大阪にまつわる曲を集めました。「シンフォニック・パラダイス」は長年、宮川自身がザ・シンフォニーホールで幾度となく演奏してきた作品です。そして檀原・八尾のそれぞれと深い関わりを持つ2曲や、大阪市音楽団時代に初演した「生業」まで、宮川が大阪・関西で生んだ名曲をお届けします。

後半は、宮川の手がける音楽劇の世界を吹奏楽で取り上げます。舞台作品には役者・舞台・そして音楽の3大要素があることは言うまでもありません。これまで多くの舞台作品の音楽を作り上げてきた氏の代表作の中でも、今回新たに編曲される「ハムレット」「身毒丸」は

ともに読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞した作品であり、自由闊達な「ハムレット」、センセーショナルな「身毒丸」は、音楽によって芝居に奥行きを与えたと行っても過言ではありません。プログラム最後を飾る「マッケンサンバⅡ」、これも立派な舞台音楽なのです！

宮川彬良×Shion、豪華ゲストを迎えて新しい吹奏楽の可能性に挑みます。

[指揮／作曲] 宮川彬良
[ソリスト(歌)] 米良美一、宮川安利

宮川彬良：シンフォニック・パラダイス、夕陽に花束、吹奏情話、八尾、生業(ナリワイ)
音楽劇「ハムレット」より5つの主題、音楽劇「身毒丸」より2つの場面、マッケンサンバⅡ

2024.3/23(土) 2:00PM

全席指定 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円(税込)

[お問い合わせ] Shionチケットセンター フリーコール:0800-919-5508(平日10:00~17:30)

[主催] 公益社団法人 大阪市音楽団

発売中



[ゲスト] 横山だいすけ

光と映像で楽しむ

0歳児からの
オーケストラ Vol.19

だいすけお兄さんと運動会に行こう！

人気シリーズが今年も開催。だいすけお兄さんの歌とオーケストラの共演。

お子様から大人まで大人気、だいすけお兄さんの愛称でおなじみ、NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」第11代目うたのおにいさんを務めた横山だいすけさんが、今年もザ・シンフォニーホールに登場いたします！

今回のタイトルは「だいすけお兄さんと運動会に行こう！」。徒競走などでよく使われるオッフェンバックの喜歌劇「天国と地獄」やカヴァレフスキーの「道化師のギャロップ」、入退場時の音楽でおなじみスーザの行進曲「ワシントンポスト」、「星条旗よ永遠なれ」など、ウキウキ、ワクワクするような運動会を彩る音楽の数々をオーケストラの壮大な演奏でお届けします。「日本の童謡メドレー」「勇気100%」では、だいすけお兄さんの歌をたっぶりお楽しみいただけます。

指揮はこれまでの「0歳児からのオーケストラ」でだいすけお兄さんとのトークが大好評の、松元宏康さんが務めます。

音楽に合わせたプロジェクションマッピングの映像にも注目です。親子で一緒に楽しめる演出が満載の演奏会。是非、ご家族揃ってお越しください！

[指揮] 松元宏康 [ゲスト] 横山だいすけ [管弦楽] 大阪交響楽団

★…プロジェクションマッピングつき…ヴォーカルあり
オッフェンバック喜歌劇「天国と地獄」より「カンカン」★日本の童謡メドレー♪/スーザ行進曲「ワシントンポスト」/カヴァレフスキー「道化師のギャロップ」/スーザ行進曲「星条旗よ永遠なれ」/勇気100%♪/チャイコフスキー「バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」★ほか

2024.5/6(月) 午前の部 11:00AM / 午後の部 2:00PM

全席指定 4,000円(税込)

[お問い合わせ] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[主催] 公益社団法人 大阪交響楽団 / ザ・シンフォニーホール

先行予約: 1/25(木) 一般発売: 1/28(日)

大阪フィルハーモニー交響楽団

大阪交響楽団

関西フィルハーモニー管弦楽団

日本センチュリー交響楽団

音楽監督
尾高忠明

常任指揮者
山下一史

音楽監督
オーギュスタン・デュメイ

首席指揮者
飯森範親

✧ New Season Message ✧

2024年はブルックナー・イヤーということで、私たち大阪フィルはブルックナーのシリーズに取り組みます。やはり朝比奈 隆先生以来、大阪フィルにとってブルックナーは大切な作曲家であり、大阪フィルの音楽監督を引き受けた以上、取り組んでいかねばならないものです。また僕にとってもブルックナーは、指揮者を志すきっかけとなった特別な存在です。今回のシリーズは、初期の3つの交響曲に光をあてるといふほかにない大胆な試みです。演奏機会は非常に少ないですが、ブルックナーを深く知っていくには欠かせない作品です。ぜひ3回通してお聴きください。

✧ New Season Message ✧

新年あけましておめでとうございます。我々3人の指揮者陣の3シーズン目となる今年、3人それぞれのカラーが徐々にオーケストラに浸透していると感じています。シーズンの幕開けには、昨年お亡くなりになった名誉指揮者の外山雄三先生の作品を演奏して先生の偉業を偲びます。柴田さんはヴェルディの名作「運命の力」に挑みます。私も聴衆の一人として聴いた「ルサルカ」の圧倒的な名演を思い出します。高橋さんの今年のテーマは「音楽と舞踏」。勿論、私のR.シュトラウスもお忘れなく！我々の弛まぬ前進を、是非リアルタイムでお聴きいただきたいと思います。

✧ New Season Message ✧

Bonne année!
本年が希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げます。2024年シーズンは藤岡首席指揮者・鈴木首席客演指揮者、そして私(音楽監督デュメイ)の指揮者3人体制で臨む初めての年です。他にも、才能豊かなドイツ人指揮者ミルデンベルガー、国内外で高い評価を得ている指揮者(高関 健、沼尻竜典、阪 哲朗)が、それぞれ個性溢れるプログラムを披露いたします。関西フィルにご注目ください！ご来場お待ちしております。

✧ New Season Message ✧

新年を迎えるにあたり、日本が世界に誇るこのザ・シンフォニーホールで、日本センチュリー交響楽団の奏でる音楽とともに、皆様が幸せで素敵な一年を送ることが出来ます様、心より祈念しております。4月からのシーズンで首席指揮者として11年目を迎えます。ハイドンの交響曲全曲演奏、レコーディングプロジェクト『ハイドンマラソン』完走と言う記念すべき日が近づきつつあるこのシーズンも、バラエティに富んだプログラムを皆様にお届けいたします。是非ご期待ください！

- 2024 Pick Up Concert -

シンフォニストの理想を求めて
～モーツァルトとブルックナー～

[指揮] 尾高忠明

- 6/13 Ⅰ
モーツァルト:交響曲 第39番 変ホ長調 K.543
ブルックナー:交響曲 第0番 二短調 (ノヴァーク版)
- 8/28 Ⅱ
モーツァルト:交響曲 第40番 ト短調 K.550
ブルックナー:交響曲 第2番 ハ短調 (キヤラガン校訂版:1877/1892年 第2稿)
- 11/14 Ⅲ
モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551
ブルックナー:交響曲 第1番 ハ短調 (ノヴァーク版:1865/1866年 第1稿(リンツ稿))

詳しくはこちら



公式 HP

公演お問い合わせ

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 <https://www.osaka-phil.com>

- 2024 Pick Up Concert -

第271回定期演奏会「外山雄三追悼」

[指揮] 山下一史 [ヴァイオリン] 森下幸路

外山 雄三:
管弦楽のためのディヴェルティメント(1961)/ヴァイオリン協奏曲 第2番(1966)
バレエ「幽玄」演奏会用組曲(1965)/交響曲「帰国」(1965)

第274回定期演奏会「音楽と舞踏」

[指揮] 高橋直史 [ピアノ] 中川優芽花

尾方 雄斗:大阪交響楽団 委嘱作品、ラフマニノフバガニーニの主題による狂詩曲 作品43
エネスコ:ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 作品11-1、ファリナ・バレエ組曲「三角帽子」第2組曲
ホセ・パブロ・モンカーヨ:ヴァパソゴ、外山雄三:管弦楽のためのラプソディ

第277回定期演奏会
「オペラ・演奏会形式シリーズVol.3「運命の力」

[指揮] 柴田真郁 [合唱] 大阪響コーラス [合唱指揮] 中村貴志

[出演] 並河寿美 (ドンナ・レオノーラ)、笛田博昭 (ドン・アルヴァーロ)

青山 貴 (ドン・カルロ・ディ・ヴァルガス)

ヴェルディ:歌劇「運命の力」演奏会形式 原語上演(日本語字幕付き)

詳しくはこちら



公式 HP

公演お問い合わせ

大阪交響楽団 072-226-5522 <https://sym.jp>

- 2024 Pick Up Concert -

第350回定期演奏会

[指揮] 藤岡幸夫 [ピアノ] 角野隼斗

菅野祐悟:ピアノ協奏曲(新作初演)

ペリオース:幻想交響曲 作品14

第351回定期演奏会

[指揮&ヴァイオリン] オーギュスタン・デュメイ

[チェロ] マルク・コッペイ

サン＝サーンス:ミューズと詩人たち 作品132/チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33

ラヴェル:組曲「マ・メール・ロワ」/ホルロ

第353回定期演奏会

[指揮] 鈴木優人

ブルックナー:交響曲 第7番 ホ長調【ブルックナー生誕200+1年記念】

詳しくはこちら



公式 HP

公演お問い合わせ

関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911 <https://kansaiphil.jp>

- 2024 Pick Up Concert -

ハイドンマラソンHM.35

[指揮] 飯森範親 [ソプラノ] 村岡 瞳 [バリトン] 大西宇宙

ハイドン:交響曲 第42番 二長調

モーツァルト:歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』より抜粋

ハイドン:交響曲 第103番 変ホ長調「太鼓連打」

第282回定期演奏会

[指揮] ヤーノシュ・コヴァーチュ [ピアノ] 阪田知樹

リスト:交響詩「プロメテウス」S99、バルトーク:ピアノ協奏曲 第3番 BB127

ショスタコーヴィチ:交響曲 第5番 二短調 作品47

第283回定期演奏会

[指揮] 飯森範親 [ヴァイオリン] マルク・ブシュコフ

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

R.シュトラウス:交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な夜」作品28 他

詳しくはこちら



公式 HP

公演お問い合わせ

センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311(平日10:00-18:00) <https://jcs.or.jp>